

昭和二十年十一月二十七日會議議案

昭和二十年十一月二十七日	決議
昭和三十年十二月一日	公布
勅令第六百八十六號	

第一復員官及第二復員官ノ任用等ニ關スル件

勅令第 號

第一條 第一復員官ハ陸軍教授、陸軍通譯官、陸軍司政
長官、陸軍司政官又ハ陸軍軍政地教授、第二復員官ハ
海軍教授、海軍通譯官、海軍司政長官又ハ海軍司政官
、第二復員官補ハ陸軍助教、陸軍通譯生又ハ陸軍醫部
、第二復員官補ハ海軍助教、海軍通譯又ハ海軍醫部ノ
中ヨリ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第二條 陸海軍武官内地ノ陸海軍武官ノ職ニ充用セラレ
陸海軍武官ノ職ニ充用中ノ陸海軍ノ准士官、豫備准
士官又ハ下士官ヨリ陸軍將校又ハ海軍ノ士官、特務士
官若ハ豫備士官ニ任セラレル場合ヲ含ム又ハ之ヲ免

秘

第二復員省官制 参照添附

昭和二十年十一月二十七日 決議
昭和二十年十二月一日 公布
勅令第六百八十號

昭和二十年十一月二十七日會議議案

除セラレタルトキハ別ニ辭令ヲ用フルコトナク陸軍將
 校ハ第一復員官ニ、海軍ノ士官、特務士官及豫備士官
 ハ第二復員官ニ、陸軍ノ准士官及下士官ハ第一復員官
 補ニ、海軍ノ准士官、豫備准士官、下士官及豫備下士
 官ハ第二復員官補ニ任セラレ又ハ之ヲ免セラレタルモ
 ノトス但シ第一復員大臣又ハ第二復員大臣ノ特ニ指定
 スル者ハ比ノ限ニ在ラズ

第三條 第一復員及第二復員部内ノ文官ニ對シテハ陸海
 軍文官ニ關スル規定ヲ適用ス

前項ノ規定ノ適用ニ關シ必嬰ナル事項ハ第一復員大臣
 又ハ第二復員大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス